

普段から地震に備えましょう

地震の際、倒れた家具の下敷きになる危険があります。また、暖房器具などが転倒すると火災につながる恐れがあります。地震が起きたときの被害を最小限にするには、普段からの備えが重要です。

①家具

- ・ 出入り口付近に家具を置かない。
- ・ 倒れてくる可能性のある家具（タンス、食器棚、冷蔵庫など）には転倒防止措置を付ける。
- ・ ピアノなど大型のものは固定する。

②食器や扉、窓ガラス

- ・ 食器棚の食器が滑り出さないよう、敷き物を敷いたり、布をかぶせる。
- ・ 扉、窓ガラスに飛散防止フィルムを張る。

③暖房器具

- ・ カーテンや障子の近くに置くと、転倒した際に火災につながる恐れがある。
- ・ 耐震自動消火装置はきちんと働くかを確認。
- ・ 脱出の時に邪魔な位置に置かない。

- ④ 防災訓練に参加しましょう。ラジオは情報収集に有効です。
- ⑤ わが家の防災会議を開きましょう。家族それぞれがどういう行動をとったらいいか、また、家族がばらばらになった時にどこで会うかなど、災害時の避難先を日

以上のように、南丹市でも大きな地震が起こる可能性があります。これらの災害が起こったときに、市民の生命、身体および財産を保護するため南丹市では日ごろの防災への備えを行っています。

市民のみなさん一人ひとり防災の意識を持ち、災害に

た殿田―神吉―越畑断層が初めて単独で調査され、八月六日の京都府地震被害想定調査委員会で、最大震度七が予想されると報告されました。

日ごろの備えをしっかりとしましょう

対して日ごろから「備え」を行うことが、いざというときに、自分や家族の生命や財産を守るにつながります。

災害はいつ起こるかわかりません。日ごろから防災意識を高め、災害に対する備えを心掛けましょう。

① 家の中や外を点検し、修繕できるところは直しましょう。

② 非常用品などを備えておき、時々点検をしましょう。



▲住民と消防団が合同で行った水防訓練（八木町）

地震が起きたら！どうする？

①まず身の安全を図る

- ・ 丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- ・ 座布団などで頭を保護しましょう。

②出口の確保

- ・ 玄関などの扉を開けて出口の確保をしましょう。

③あわてて外に飛び出さない

- ・ 大きな揺れは1分程度でおさまるので、周囲の状況を確認して、落ち着いて行動しましょう。

④すばやく火の始末を

- ・ 使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。ガスは元栓を締めて、電気器具はコンセントから抜きましょう。

⑤火が出たらすぐ消火を

- ・ 初期消火のために消火器やバケツなどを用意しておきましょう。



台風が来たら！どうする？

①風が強いときは外に出ない

- ・ 風は一旦おさまっても突然強風が吹き出すことがあります。

②119番は必要最小限に

- ・ 119番電話が殺到すると、回線がパンクしてしまいます。利用は緊急のときだけにしましょう。

③児童生徒の登校

- ・ 強風などで登校するのが危険であると判断される場合は、自主的に登校を控え、学校からの連絡を待ちましょう。

④家が破損した場合は

- ・ 無理に修理せず、家の中の安全な場所（窓の少ない部屋）に避難しましょう。

⑤車の運転に注意する

- ・ 車に乗っている場合は、飛来物や垂れ下がった電線などが危険です。スピードを落として運転したり、停車しましょう。

⑥避難するときは

- ・ 活動のしやすい服装で、なるべく徒歩で避難しましょう。

